

ごあいさつ



患者支援センター長
土肥直文

皆さん、こんにちは! 今年の夏の大ニュースは、奈良県総合医療センターで中央手術部部長として大腸肛門領域のトップとして仕事をされ、数多くの大腸癌などの外科治療に携わってこられた石川博文先生を当院の副院長としてお迎えできたことです。

石川先生が当院に来られたことで、当院大腸肛門病の治療レベルが大きくレベルアップすると期待しています(右ページの石川博文先生のご挨拶を是非読んでください)。

さて、ファミリーユミむろ8月号の特集は、耳鼻咽喉科の「めまい」のお話と、皮膚科の「乾癬かんせん」のお話です。どちらもみなさんの興味をひく内容ですので、どうぞゆっくりお読みになってください。次号は、石川博文新副院長の大腸・肛門の特集の予定です。

新任医師紹介 令和元年7月1日付け

整形外科医員



ふじい しゅうへい
藤井 修平

専門医・専門分野

- ・日本肩関節学会
- ・日本骨折治療学会
- ・一般整形外科、四肢外傷、肩関節

外科・消化器外科医員



ふじもと こうすけ
藤本 浩輔

専門医・専門分野

- ・日本外科学会会員
- ・日本消化器内視鏡学会会員
- ・日本臨床外科学会会員
- ・消化器外科

外科・消化器外科専攻医



どい しゅんすけ
土井 駿介

専門医・専門分野

- ・日本外科学会会員
- ・日本消化器外科学会会員
- ・日本消化器内視鏡学会会員
- ・消化器外科

臨床研修医



しばた ようすけ
芝田 洋輔

新副院長からご挨拶



奈良県西和医療センター
副院長 外科 石川博文

専門医

日本外科学会 指導医・専門医
日本消化器外科学会 指導医・専門医
日本がん治療認定医機構 暫定教育医・認定医
日本大腸肛門病学会 施設代表・評議員・指導医・専門医
日本消化器内視鏡学会 指導医・専門医
大腸癌研究会施設代表
英国消化器病学会 International member

専門分野

消化器外科全般
腹腔鏡手術
進行／再発癌に対する集学的治療
大腸早期癌に対する内視鏡的治療
炎症性腸疾患
肛門疾患
ソケイヘルニア(クーゲル法)

このたび、令和元年5月1日という吉上の日に、奈良県西和医療センター 副院長に就任いたしました石川博文です。私は外科医を志し、昭和61年に母校奈良県立医科大学の第一外科に入局しました。大学院、そして1999年1月から2年間の英国セントマークス病院の留学を経て、2002年7月から奈良県総合医療センター（旧県立奈良病院）で大腸疾患の治療に携わってまいりました。

私は西和医療センターでの最初の大腸肛門の専門医となります。日本人の約1/3には痔核（いぼ痔）があると言われておりますので、誰でも一度や二度便に血液が混じったことがあると思います。当院では痔核の専門的な治療もできますし、何より大腸癌が隠れていることがありますので、血便の時にはためらわずに受診していただきたく思います。大腸癌の治療の原則は「限局している病変は切除する」、これに尽きると考えています。たとえ切除が困難な大腸癌に対しても、あらゆる治療（手術、化学療法、放射線療法等）を用いてできれば切除する、というあきらめない治療が私のモットーです。早期に近い癌に対しては、消化器がん低侵襲治療センターで、腹腔鏡下手術という身体に優しい手術と、消化器内科と共同で粘膜下層剥離術というさらに優しい内視鏡治療(ESDと言います)も積極的に行っています。また体表の疾患であるそけいヘルニア(脱腸)についても、身体に優しい腹腔鏡下修復術と、習得が難しいものの短時間でできて理にかなっているクーゲル法も出来ます。スタッフはベテラン揃いですので、安心して受診してください。この地域で良い医療を確立することが私に与えられた大きな役目だと思っています。

西和医療センターの診療理念「いい医療をより多くの患者さんへ」の実現に向けて今後も一同で努力してまいります。皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。